



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と
ひ
と
ツムぐ学生

第59号

2017年8月26日

編集 竹内稔博

(東浦中学校主幹教諭)

夏休みわくわく算数・数学教室特集号 No.38

～そうだ、夏は、東浦へ行こう！ 東浦の子どもたちのために、
そしてSPさん自身の教師力向上のために～

子どもの表情が変わります！

朝のミーティングで、中村先生から話がありました。



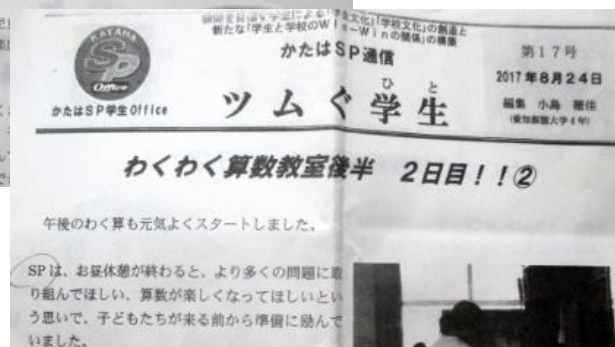
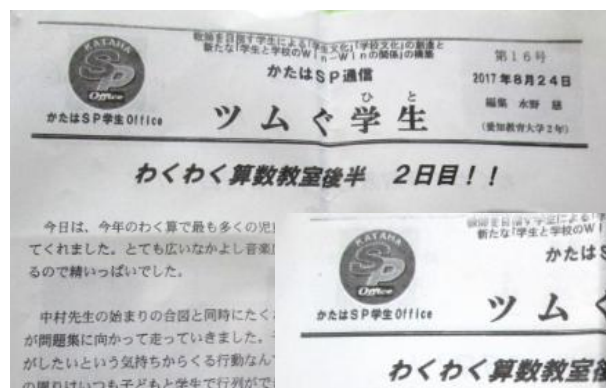
「1時間半の間で、子どもの表情がすごく変わるんです。それをよく見てあげてください。」SPさんに対して、こんなに簡潔に「大事なことを分かりやすく」説明する人を見たことがありません。そうなんです。SP活動で学んでほしい現場感覚は、子どもの表情で評価できるのです。子どもがみるみる変わっていく、それが教育の本質なのです。

現場の先生、それも一流の先生の話を生でこうして聞けるというのも、SP活動の「すごくよい点」です。ぜひ、全てのことから学んでください。(すごくよい経験ができていて、すごくよい話が聞けている、ということに気付くのは、ひょっとしたら現場に出てからかもしれません。)

この日の取材担当は、久田SPさんでした。大学2年生ですが、堂々とした振る舞いです。昨年からSPを経験してくれています。「今日の取材のポイントは何？」と聞いたら、「子どもとSPさんの関わりと笑顔を取材します」とのこと。そういう久田さんの笑顔が一番良かったです。

昨日担当してくれた二人の人が通信を発行してくれていました。新鮮な視点で、元気をもらえる通信になっていました。

取材力、書く力、まとめる力…。わくわく算数教室を通して、学生がどんどん学んでいます。



東浦中学校竹内稔博先生作成の「わくわく算数・数学教室通信第36号」を「ツムぐ学生」用に改編しました。